

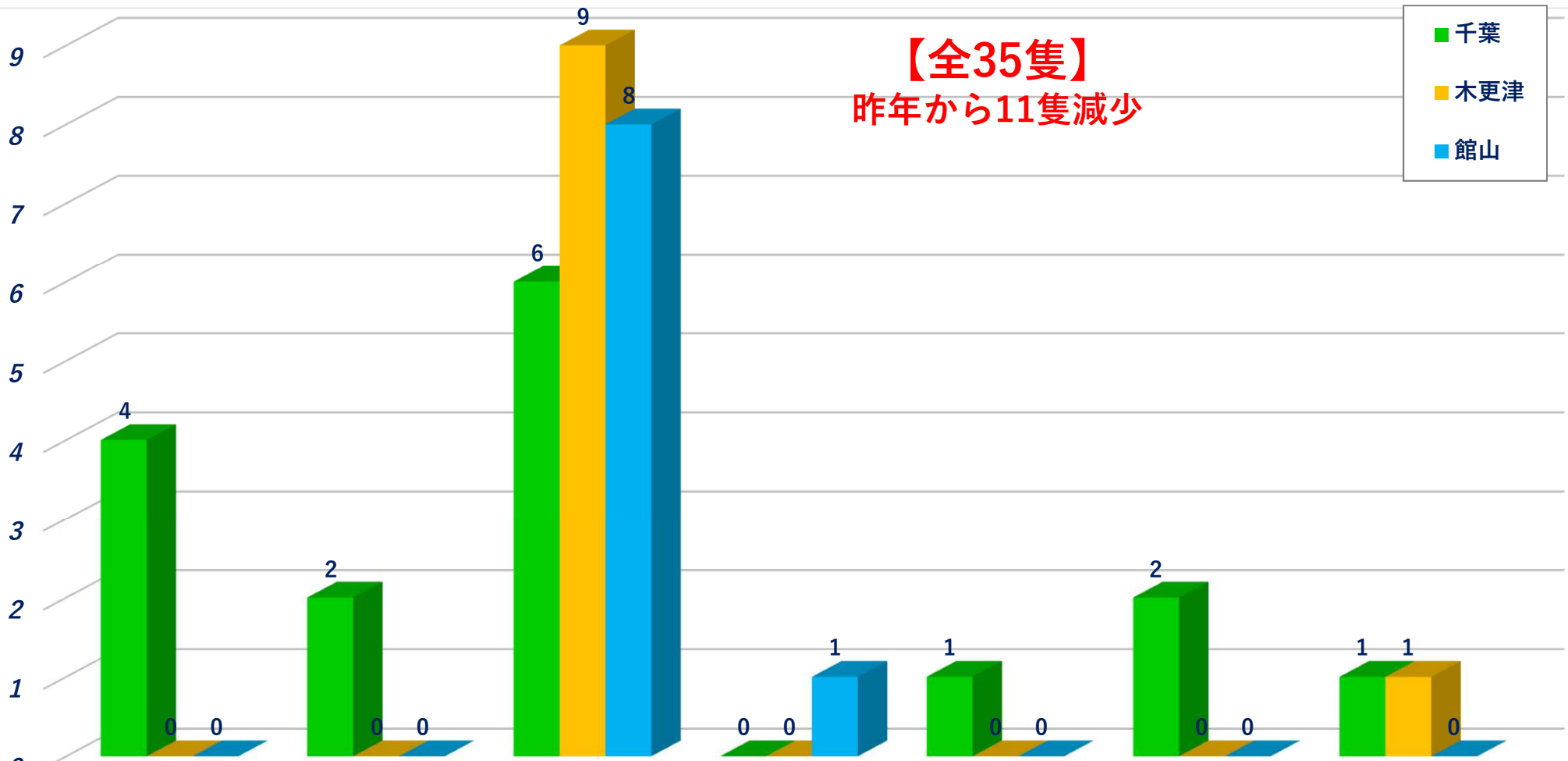
千葉海上保安部航行安全課からの連絡事項

(公社) 東京湾海難防止協会
令和4年度 第2回 千葉地域連絡会

令和5年2月6日

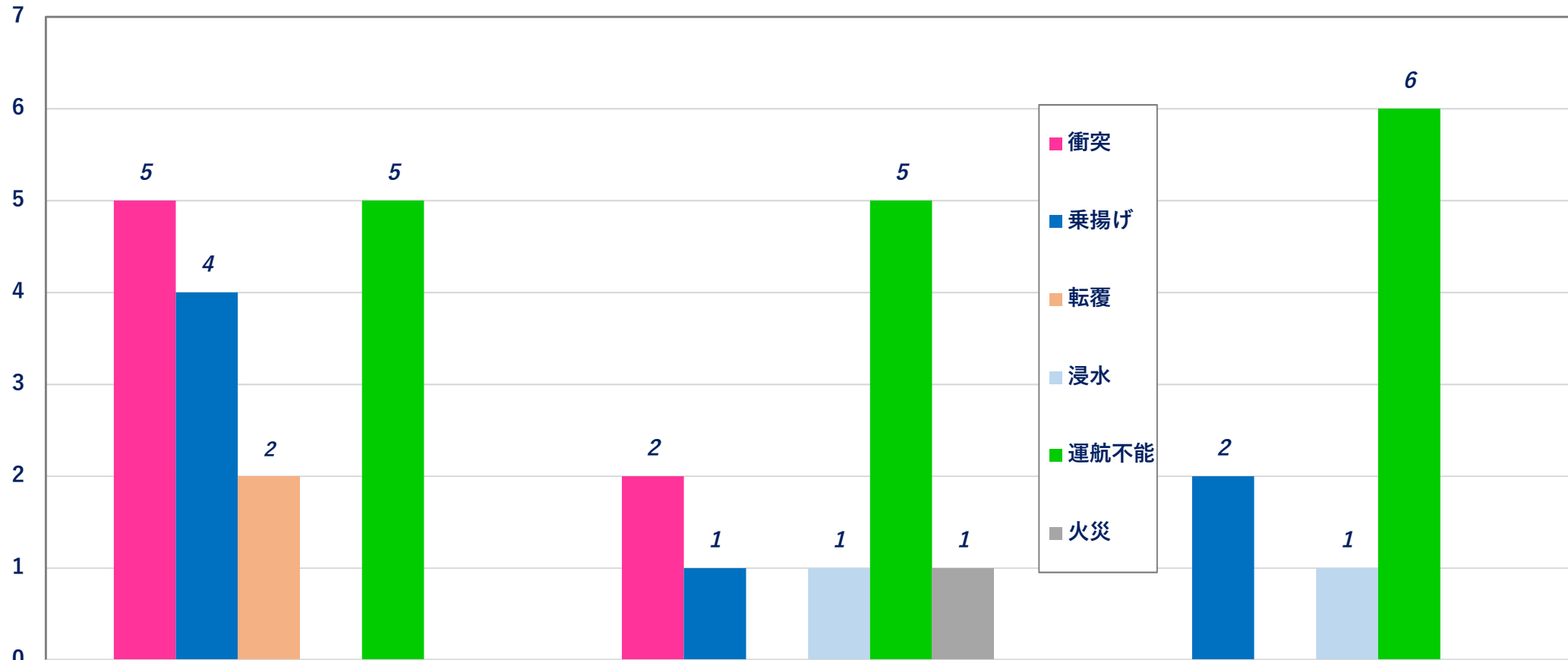


(隻)



	貨物船	タンカー	プレジャーボート	漁船	遊漁船	旅客船	その他
■ 千葉	4	2	6	0	1	2	1
■ 木更津	0	0	9	0	0	0	1
■ 館山	0	0	8	1	0	0	0
計	4	2	23	1	1	2	2

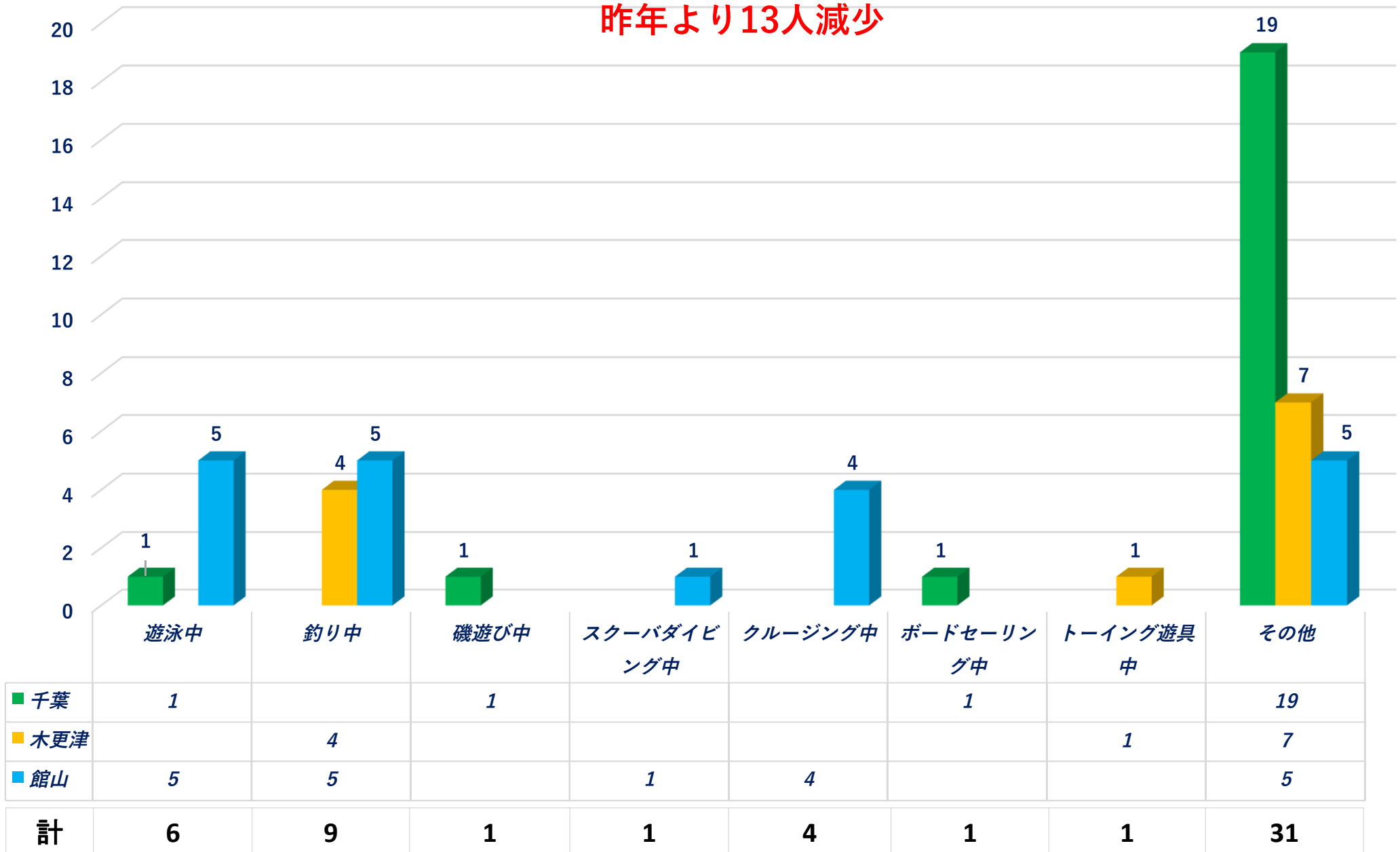
(隻)

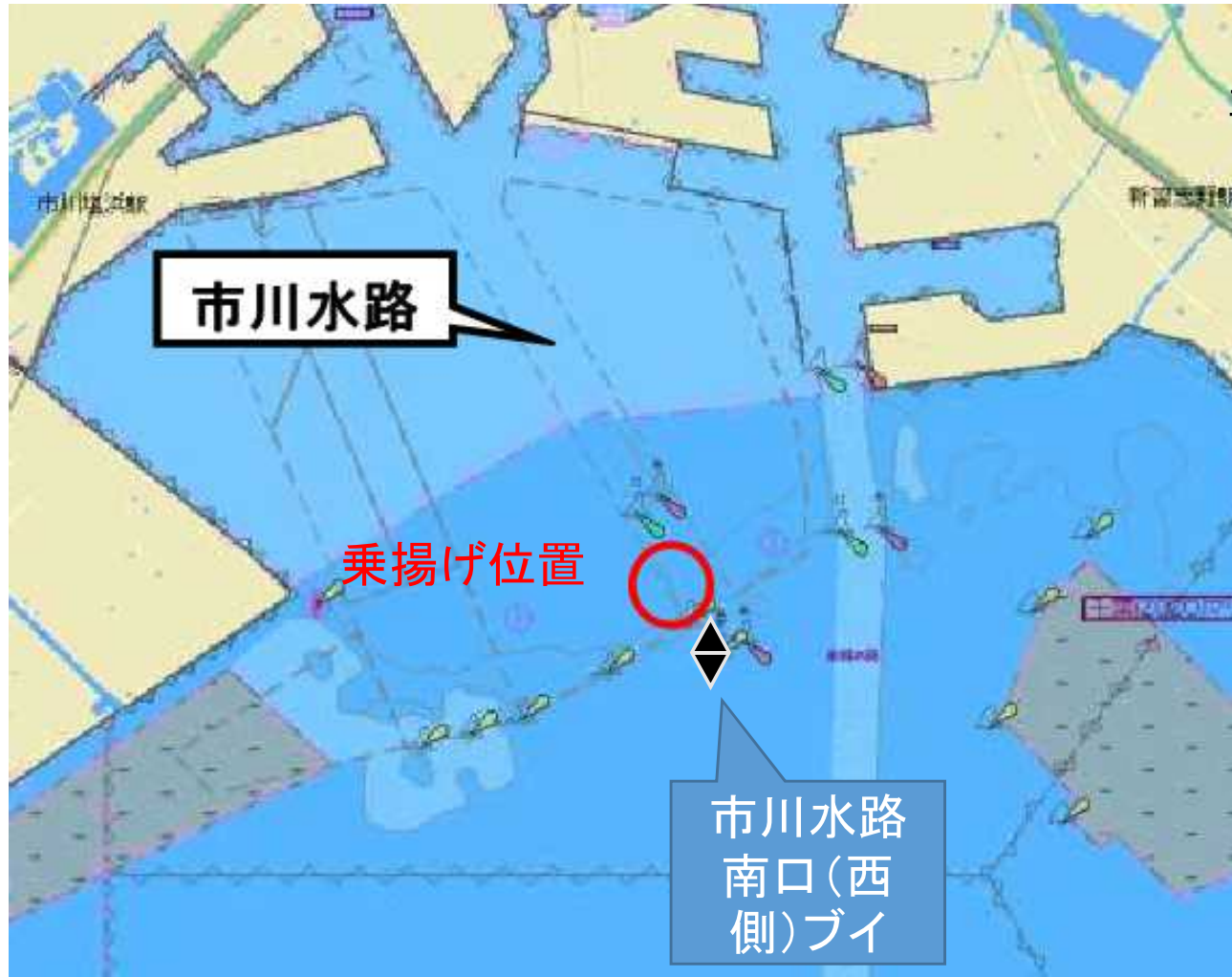


	千葉	木更津	館山
衝突	5	2	0
乗揚げ	4	1	2
転覆	2	0	0
浸水	0	1	1
運航不能	5	5	6
火災	0	1	0
計	16	10	9

(人)

【全31人】
昨年より13人減少





事故船舶
内航貨物船 5200トン

- 発生日 令和4年8月31日
- 場所 市川水路南口付近
- 気象海象 天候：晴れ 風向風速：南西10m/s 波高：1m未満
- 状況 事故船舶は、市川を出港し、市川水路内を航行していたが、水路南口のブイを見間違え、水路南口の手前で、次の目的地である川崎方面向け変針し、水路西側の浅瀬に乗揚げた。約40分後、満潮に合わせて自力で離礁した。乗組員の負傷や、船体の顕著な損傷はなかった。

水上オートバイ①

船長(男性)1名乗船

水上遊具(2名乗り)を曳航中



水上オートバイ②

船長、同乗者の2名乗船

- 日時 令和4年8月14日
- 場所 富津岬沖
- 気象海象 天候：晴れ 風向風速：南西6m/s 波高：1m未満
- 状況 水上オートバイ①及び②は、仲間同士が乗船し、富津岬沖で遊走していたところ、②が操船を誤って①の右側に衝突した。
双方の船体が損傷。①の船長が脳震盪を負った。

海難事例 1 ～SUP漂流①～



事故者 56歳・男性

118番通報

約5.5 km
約1時間半

出艇位置

約3 km
約50分

救助

- 日時 令和4年11月4日
- 場所 千葉県浦安沖
- 気象海象 天候：晴れ 気温：19度 海水温度：19度 風向風速：北東8m/s 波高：1m
- 状況 事故者は、千葉県千葉市美浜区「検見川の浜」をSUP(インフレーターブル)にて出艇し、検防波堤内で釣りを始めたが、その後、防波堤の外に流されていることに気付き、浜に戻ろうとオールを漕いだが、正面から風を受け前に進むことができず、目標を船橋方面に変えて帰還を試みたものの、更に流され、漂流を始めてから2時間以上経過した後、自力での帰還は困難と判断し携帯電話（防水機能付）で118番通報し救助を要請。巡視艇に救助された。
- その他 SUPへ取付ける構造ではない折り畳み椅子を自身で増設し使用していた。

事故者1	39歳・男性
事故者2	7歳・女兒



- 日時 令和4年8月27日
- 場所 千葉県館山市所在の沖ノ島海水浴場（開設期間終了）
- 気象海象 天候：晴れ 海水温度：25度以上 風向風速：南西5m/s 波高：ほぼなし
- 状況 事故者1は、娘をSUP（インフレーターブル）に乗せ、海水浴場から出艇後、波に煽られ転覆した際、パドルを水没させ漂流状態となり、手で漕いで岸へ戻ろうとするも沖への風により進むことができず、自力帰還を断念。
海水浴場のブイにつかまり、付近岸壁の釣り人へ助けを求め、釣り人から118番通報。巡視艇により救助された。

**【概要】**

●発生日

令和4年4月18日

●場所

千葉港 着岸中の船内

●事故者

22歳男性(1年前に船員として雇用)

●事故形態

巻き込まれ事故(ファン)

●状況

事故者は、停泊中の機関整備作業中、発電機の試運転を行いながら、オイル交換時に垂れた潤滑油を拭き取ろうとした際、ウエス(雑布)ごと事故者の右手が発電機の冷却ファンに巻き込まれ、右手指の爪剥離及び裂創を負った。

プレジャーボートに対する海難防止



小型免許更新講習に合わせた指導



海上安全指導員合同パトロール

- ・日常点検と定期的な業者点検の推奨
- ・気象、海象の確認による無理な運航の防止
- ・浅瀬や養殖網など目的地と経路上の危険個所の把握と回避の徹底

漁船・遊漁船に対する海難防止



遊漁船の救命設備点検



漁協訪問

- ・運航中止基準の順守
- ・乗船者全員の救命胴衣の常時着用など事故救命策の確保
- ・操業中の見張りの徹底

タンカー・貨物船の海難防止



タンカーバース点検



訪船指導

- ・着離岸、荷役中止基準の順守
- ・設備の日常点検と維持管理
- ・霧発生時の見張りの強化
- ・荒天時走錨防止対策の徹底
- ・適切な避泊地の船艇と早期避難の推奨

マリナーに対する海難防止



遊泳禁止場所での注意喚起



親子ライフセービング教室

- ・海水浴場以外の場所や飲酒後の遊泳禁止
- ・磯釣り、磯遊び中の救命胴衣着用と海中転落防止
- ・保護者は子供から目を離さないこと

《今後の課題》

- 高止まりするプレジャーボート海難
 - ・バッテリー上りや燃料切れなど点検整備不良による機関故障等が頻発
 - ⇒ 定期的な業者整備の促進

- SUPの活動域拡大による事故増加の懸念
 - ・ショップを介さず、インターネットによる個人購入が主流
 - ⇒ 講習など受けない知識、技量不足による漂流事故防止

旅客船・遊漁船の皆様へ 浸水 / 転覆事故等を防止するために

令和4年4月23日 知床岬沖において
旅客船の浸水事故が発生し、現在も捜索が続いています。
現時点において事故の原因は明らかではありませんが、
同種事故の防止や**非常時対応を確実に実施**するため、
以下、**発航前検査等の徹底**をお願いします。



設備の検査 / 確認

- ✓ 船体の検査
- ✓ 機関の検査
- ✓ 通信手段の動作確認
- ✓ 救命設備の検査

等々

設備以外の確認 / 実施事項

- 非常時の脱出手順確認
- 事前の水路調査
- 気象海象の確認
- 常時見張りの徹底

等々



問合せ先：千葉海上保安部航行安全課 TEL043-242-1805



旅客船（港内遊覧船に対する点検・指導）



遊漁船業務主任者に対する安全講習



遊漁船の安全点検

事業者へのルールレット配付



未成年者の事故があった場合は保護者に連絡されます。

- 【問い合わせ先】
- ・千葉県民土整備部 千葉港湾事務所 (TEL:043-246-6201)
 - ・千葉県千葉西警察署 (TEL:043-277-0110)
 - ・海上保安庁 千葉海上保安部 (TEL:043-242-1805)

裏面もチェック⇒



千葉県教育庁、千葉市教育委員会を介して
千葉県内小・中・高校等へ周知

マリンスタジアムでのバックスクリーン映写
(千葉ロッテマリーンズホームゲーム日)



各市教育委員会の協力を得て、
千葉市・船橋市・館山市小学1年生へ配布

学校の配布物として周知



児童から保護者の手へ

★児童、保護者、教員が共に安全意識を高める効果

Marines JCG JAPAN COAST GUARD 海上保安庁
千葉市のプロ野球選手
山口 航輝 選手

千葉の海、安全アーチ

打ち放て

海の事件、事故は、
緊急通報ダイヤル

118番

JCG 千葉海上保安部 公益財団法人海上保安協会千葉支部
JAPAN COAST GUARD FOUNDATION

海で事件や事故にあって見たりしたらすぐに局番なしの118番に電話ください。海上保安庁につながります。命をつなぐ118番

CHIBAJETS × 海上保安庁

CHIBAJETS
2 -
YUKI TOGASHI

【海の事故を防ぐ3つのお願い】

- 気象・海象に注意して！泳ぐなら海水浴場で！
- 子供から目を離さないで！
- ライフジャケットを着用しよう！

千葉ジェッツと千葉海上保安部は水難事故防止活動を推進しています

JCG 千葉海上保安部 公益財団法人海上保安協会千葉支部

海の事件・事故は、緊急通報ダイヤル **118番**

管内自治体、公共施設、公共交通機関、
教育委員会、関係団体への配布・掲示